


事前に生徒から金目川に関するたくさんの質問が寄せられて、それに答えた。 ・一部掲載

今年襲ってきた台風と大雨の自然災害  
「7.3」夜中の2時レベル5の厳しい発令、降り注ぐ大雨。戸惑う人・人「7.30」午後空が急に不安定になり、ゲリラ豪雨が襲ってきた「8.15」長時間の大雨、金目川は危険水域を3時間以上続いた。お盆なのにやりきれない思いです。「9.18」台風14号が襲ってきたが、金目川は大丈夫であった。「10.1」台風16号が八丈島の南を進行して、平塚は1日、止まない強風の連続。金目川の増水を心配したが大丈夫。



・多くの生徒は洪水を心配している。

・質問 金目川はきれいですか



・答え  
きれいな花水橋

・質問 金目川の水源は

### 金目川の豊かな水源、 はるたけさん(春嶽山)

- ①ゆうすい(湧水)はほとぼしって岩のがけ(崖)を下りしづきを上げている。
- ②ブナの小さなしんめ(新芽)が岩と岩の間のかれくさ(枯草)と共にそこかしこに1年生として太陽に向かっていている。
- ③昔から水を豊かにするために地域が共同してたいせつ(大切)にしている。



・質問 金目川の洪水の歴史について

### 金目川があふれたら、300年前、ほうえい(宝永)の大地震

- ほうえい(宝永)元年(1704)6月と翌2年(1705)6月、**2年続けての洪水**。原因はげんろく(元禄)16年(1703年11月23日)の大地震(マグニチュード **8.2**)。
- ひがい(被害)は江戸時代最大。花水橋付近でどろ水がふきあげ、山くずれ、大磯海岸ではりゅうき(隆起)のためいそ(磯)が2丁も先になった。
- 津波のらいしゅう(来襲)により船がたくさんやられた。各河川のていぼう(堤防)がくずれた。土砂で川どころが上がってしまい合流点ではぎゃくりゅう(逆流)して、少し水が増えてもすぐにはらんした。